

# 果樹カメムシ類情報第4号（ナシ・カキ・カンキツ）

令和6年10月4日  
愛知県農業総合試験場  
環境基盤研究部病害虫防除室

**カキほ場での被害果が多い状況です。  
引き続きほ場への飛来状況を確認しましょう。**

## 1 発生状況

9月2日に令和6年度病害虫発生予察注意報第7号（果樹カメムシ類）を公表したところですが、その後も果樹カメムシ類の発生が多い状況が続いています。

9月下旬に県内11地点22ほ場（カキ）で行った巡回調査において、果樹カメムシ類による被害果率は平均11.27%（平年3.07%、前年0.86%）と過去10年間と比較して最も多い状況でした。

また、9月における予察灯の誘殺数（9月第1半旬～第5半旬合計）は、チャバネアオカメムシで本年659頭（平年181.3頭、昨年304頭）となり、過去10年で最も多い状況でした。

ツヤアオカメムシは本年111頭（平年36.0頭、昨年61頭）となり、過去10年で2番目に多い状況でした。

クサギカメムシは本年213頭（平年35.5頭、昨年36頭）となり、過去10年で最も多い状況でした。

10月3日名古屋地方気象台発表の1か月予報によれば、向こう1か月の気温は高い見込みであり、果樹カメムシ類の活動に好適な条件となるため、注意が必要です。

## 2 防除対策

- （1）果樹カメムシ類は夜温が高く風の弱い夜に果樹園へ飛来することが多い点を参考にして、ほ場での飛来状況をよく確認しましょう。局地的に飛来し、集中的に加害する傾向があるため、被害の発生状況は園地間差が大きくなる傾向にあります。過去に果樹カメムシ類の被害が多かった園や山林に近い園では特に注意が必要です。
- （2）発生を確認したら、登録のある薬剤を散布してください（令和6年度病害虫発生予察注意報第7号参照）。収穫中のほ場における薬剤の使用にあたっては、収穫前日数に注意しましょう。



カキのカメムシ被害果実



ナシのカメムシ被害果実